

地方経済情報 Weekly No.323

香港向け球磨焼酎オンライン試飲会を実施！

1. 香港のプロ向けに試飲会を開催

2020年度から肥後銀行と当研究所が共同で行っている球磨焼酎の海外PR事業の一環として2月16日(水)、17日(木)の2日間、香港のバイヤー向けにオンライン試飲会を開催しました。日本側は蔵元など11社が、香港側は飲食店・バー関係者や輸入商社など12社が参加しました。㈱くまもとDMCと連携して運営にあたり、また現地バイヤーの招待や調整には熊本香港事務所に多大なるご支援をいただきました。

2. 香港の日本産酒マーケット

香港には日本産酒類が多く輸出されています。2021年の輸出金額は中国、アメリカに次いで3番目に大きい14,758百万円(前年比148%)で、年々増加しています。球磨焼酎もすでに販売されていますが、日本酒が一般的に楽しまれている一方で、球磨焼酎を含む日本の焼酎の知名度はまだ高くありません。

3. オンラインでの試飲会

新型コロナウイルスの影響で香港への渡航が難しいため、蔵元など事業者は日本からオンラインでプレゼンを行いました。また香港における集会の人数規制等により会場の「割烹櫓杏」への来場者数が制限されたため、バイヤーの多くはオンライン参加とし、事前に配布したミニボトルをプレゼンに合わせて試飲してもらいました。

各日90分間で、球磨焼酎の基礎的なレクチャーと商品のプレゼンを行いました。バイヤーからの製造や貯蔵に関する専門的な質問もあり、一部の商品には見積依頼もいただいています。今後、球磨焼酎が香港市場を拡大していく大きな可能性を感じました。

【写真1】バイヤーに配布したサンプル



球磨焼酎の4タイプの味いを、シールの色分けで示しました。オンラインで試飲するバイヤーにも不都合がないよう、情報を補うことを心がけました。

【写真2】試飲するバイヤーたち



一部のバイヤーは「割烹櫓杏」に設けた会場で、この試飲会のために特別に用意された食事とのマリアージュを楽しみました。